

あら こう つう しん

# 新高通信

令和8年3月19日発行



第89号

秋田県立新屋高等学校

足跡 2025

校長 浅利 宏

日頃より本校教育活動について、ご理解ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

本校は昨年度創立40周年を迎え、次の節目に向かって新たなスタートを切りました。

秋田県内の高校で探究活動と言えば新屋高校と言われています。そして、SDGsに関する活動、起業体験プログラムによるアントレプレナーシップ教育、合同会社「あらこう」立ち上げなど、様々なキャリア教育に力を入れています。その成果が認められ、今年度はPLIJ（東京大学学びのイノベーション・プラットフォーム）探究グランプリにおいて、グランプリを獲得し、また、あきたSDGsアワード2025も受賞しました。生徒の将来につながるキャリア教育を実践しているわけですが、各方面で評価いただき、光栄に思っています。



今年度の部活動については、弓道部がインターハイ出場、その他多くの部が東北大会出場を果たしました。そして香川県で開催された全国高等学校総合文化祭には吹奏楽部が秋田県代表として参加しました。そして1、2年生による新人大会では全県新人大会でソフトボール部、弓道部女子団体、男子個人、剣道部女子団体、女子個人で優勝、剣道部女子は全国選抜大会県予選でも優勝し、以上の部が全国選抜大会への出場を決めています。1月末の秋田県冬季弓道大会でも女子が団体優勝を果たし、東日本大会への切符を手にしてしています。本校の教育重点項目の中に「地域貢献」があります。新屋地域の様々な活動に参加し、「おらほの学校」と呼んでいただいております。本校が実施している地域と連携した活動を紹介します。

- 日吉神社山王祭への参加（今年度は40名ほど）、2年生日吉神社訪問
- 栗田支援学校との交流（学校祭での制作物販売、バスケットボール部交流、栗田カップへの協力、吹奏楽部によるクリスマスコンサート）
- ももさだ海岸クリーンアップ（年2回）、地域清掃
- 石田坂公民館でのフリーマーケット、新屋地区敬老会での吹奏楽部の演奏
- 地元の皆さんと共同開催の避難訓練
- 雄物川花火大会での軽音楽同好会の演奏
- 公立美術大学の教育実習、授業体験の受け入れ
- 合同会社「あらこう」を設立、販売する商品の地元業者とのコラボ。今年度は販売会をナイス新屋店様で実施。
- 大森山動物園との協働
- たけや製パン様とのコラボによる新商品開発

このような充実した活動を展開し、成果を挙げていることの大きな力となっているのが、地域の皆様の協力、支援だと思っております。今までの路線を継承するとともに新しいことに挑戦する意識を忘れず、地域に貢献できるよりよい学校作りに邁進して参ります。今後ともご支援のほど、お願い申し上げます。

## 地域と共に歩み、未来へ羽ばたく ～卒業生への温かなご支援に感謝して～

3 学年主任 阿部大輔

日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。3月1日に152名の3年生が無事卒業しました。卒業生は、デジタル探究コースの一期生として「道なき道を切り拓く」挑戦を続けてまいりました。その期間は、常に地域の皆様の温かな眼差しと支えの中でありました。

日吉神社の山王祭ではボランティアとして伝統の重みを肌で感じ、歴史学習では新屋の豊かな歩みを直接ご教示いただきました。また、ももさだ海岸の清掃活動やハマボウフウの植栽活動などを通じて、自分たちの故郷を守る大切さを学びました。特に「総合的な探究の時間」では、地域の皆様から専門的な知見や励ましをいただき、その成果が「PLIJ 探究グランプリ」や「あきたSDGsアワード2025」の受賞という形で結実いたしました。個人でもSDGsコンテストにおいて大賞を受賞するなどの成果もしております。

教室の中だけでは得られない、地域という大きな教室での学びが、生徒たちの内面をたくましく磨き上げてくれました。地域の皆様が注いでくださった愛情は、これから社会という荒波を漕ぎ出す際の、確かな心の灯台となるはずです。

立派に巣立ちゆく卒業生の門出を、今後とも温かく見守っていただければ幸いです。3年間、本当にありがとうございました。そしてこれからも新屋高校を宜しくお願い致します。

## 今年度の進路決定状況

進路指導主事 岸 由美

【就職】 人手不足で高校生の求人倍率が高い状況になっています。民間就職の生徒は、無事全員内定をもらうことができました。公務員志望の生徒たちも健闘し、昨年に引き続き、警察官、市役所、自衛隊などに合格しました。

【進学】 総合型選抜、学校推薦型選抜など自分をアピールできる受験に挑戦し、12月までに8割を超える3年生が進路を決めました。1, 2年のうちから積極的に進路について調べ、3年生になるまでに志望校を決めて対策した結果です。特に総合型選抜で受験した生徒が増加し、合格率もこれまでより上昇しました。一方で、学校推薦型選抜を受験した生徒は減少しています。また、一般受験に向かった生徒も健闘しました。国公立大学に一般受験で合格した生徒が、晴れやかな顔で報告に来てくれました。

3年生の進路決定状況（3月10日現在）

	卒業生数	進学				就職		未定
		国公立大	私大	短大	専門学校	民間就職	公務員	
今年度	152	20	49	7	48	17	8	3
昨年度	168	17	58	13	42	25	8	5

## 1年間を振り返って

生徒指導主事 佐藤 博之

本年度、本校では生徒指導に関わる処分件数はゼロであり、生徒たちは概ね落ち着いた学校生活を送ることができました。これは、日頃から地域の皆様にご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。一方で、登下校時等の交通事故が年間で15件発生しており、引き続き交通安全への意識向上が大きな課題となっています。学校といたしましても、交通安全指導を一層充実させるとともに、地域の皆様と連携しながら、生徒の安全確保に努めてまいります。今後とも温かいご支援をよろしくお願い致します。